

信州木曽看護専門学校自己評価に対する外部評価委員の意見

1 全体

- ・2年度の学生と3年度の学生の評価が随分違っており、年度によって評価が随分変わるものだと感じた。

- ・学生アンケートは4段階評価で実施しているのか。

→作成時に、いくつかの学校について調べ参考にし、4段階で実施している。毎年、この形で実施すると前年との比較ができる。

→学生が、どう考えているか分かるアンケートも実施したらどうか。

2 項目別

(1) 大項目V 学生支援

- ・進路指導は、どのように行っているのか。卒業生は、県内に残っている。

→自主性を重視し、自分でリサーチするよう指導しているが、ガイダンスを紹介したり、2年次には、実習病院の方を招いてキャリア形成の話をしてもらっている。

出身地の病院に就職する傾向もあるが、実習で一番世話になっている木曽病院に就職する学生もいる。

- ・奨学金については、どのように取り組んでいるか。

入学前と入学時に保護者も交えて説明し、4月に在校生向け説明会を開いている。以前は、日本学生支援機構と県の修学資金が中心であったが、最近では、広域連合の奨学金、病院機構の奨学金についても触れている。

入学直後は、まだ、進路も定まっていない学生が多いので就職先の制限の弱い日本学生支援機構や県の修学資金が中心となるが、進路の出てきた学生には広域連合奨学金や病院機構の奨学金を勧めている。

- ・卒業後の学生の動向はどのように把握しているか。

→卒業後1年目の3月に離職、資格取得の希望調査をしている。一昨年は全卒業生にアンケートを実施した。10年後とかの区切れでアンケートを実施したらどうかと考えている。

(2) 大項目VI教育環境

- ・車通学が多いが、宿舎はもっとあった方が良くないか。

→現在、学生宿舎は全部で28室だが、すぐに増やすことはできない。

事故防止のため、交通安全教室を開いたり、冬の対策等時期に応じた指導をしている。4月には、学校への駐車許可に合わせ、誓約書を提出させている。

(3) 大項目VII学生の受け入れ募集

- ・木曽病院で入院患者にアンケートを実施したが、看護師さんの評判がよか

った。自分としても、進路指導が大学に偏らないよう高校にお願いしているが、そういった取り組みも必要ではないか。

- ・卒業生の認定看護師等の資格取得についても募集時に説明したらどうか・

→1期生が卒業後5年となり、役割を持ったり次のキャリアアップに進める時期となっており、これから紹介ができるようになる。

- ・郡内の生徒を入学させるのも学校設立の目標になっている。そのための取り組みはしているのか。

→中学生へもPRできる機会を模索してゆきたい。また、SNSの活用についても取り組んでいきたい。

- ・「新型コロナウイルス感染症まん延の影響でアルバイトができなくなっている。」という話が聞かれるが、当校はどうか・

→感染リスクを減らすため、まん延の状況が収束するまで、アルバイトは原則禁止にしている。まん延前は、学習に影響のない範囲、長期休み等にアルバイトを認めていた。

- ・コロナ禍で高校生の医療系への意識はどうなっているか。「看護師は大変だ」というイメージができてしまうのが心配だ。

→高校生一般の意識は不明だが、入学した学生は非常に意識が高い。

- ・学校設立時にアンケートを行ったが、専門学校進学は必ずしも高くはなか

った。自分としても高校の進路指導の先生に働き掛けを続けたい。